

『学校教育・家庭教育に思うこと』【日本電産株式会社代表取締役会長・京都先端科学大学理事長 永守重信 氏】

2年前、一代で世界一の総合モーターメーカーに育て上げてきたカリスマ経営者：永守氏の講演を聴く機会があり、いつか生徒・保護者に還元したいと思っていましたので、講演の内容を紹介します。

日本電産を創業した私がなぜ大学の理事長になったかをお話する。日本の教育、特に高等教育に異論があるからである。大学を卒業しても即戦力にならず、企業で1、2年再教育しなければいけない。今の大学の課題は3つあり、①海外勤務をさせようにも、英語を話すことができない。他の国では子供でも英語を話すので、英語は学問とは違う。書くことの前に話すことが大切である。②専門性が身につけていない。経済学部を出て、会社に入っても、経理や財務などの実務ができない。③礼儀作法が身につけていない。日本の大学教育は間違っている。受験勉強は暗記とテクニックを学ぶだけで、実社会では役に立たない。こうした偏差値教育とブランド主義を打破しようと思ったのである。

私は京都の貧しい農家に生まれた。家の手伝いばかりしていたので、勉強らしい勉強はしなかったが、成績は良かった。中学校の先生が、工業高校ぐらいい行かせてやってくれ、と家族に言ってくれ、高校へ通うことができた。高校でも勉強ができたので、担任の先生が学費のかからない「職業能力開発総合大学校」を教えてくれた。特待生で電気科に入学し4年間、1円の金も使わず卒業した。就職した当時から独立心が強かったので、当時の金で200万円貯めて35歳で会社を興そうと考えた。人から服をもらったり、昼はいつもカレーライスだったり切り詰めた生活を続け、目標より早く28歳の時に、自宅の納屋を改造して日本電産を創業した。以来40年余り、必死で働いた。今では世界43カ国、グループ300社超、従業員約14万人を抱えるモーター製造の世界最大企業に成長させた。

モーターの将来は、とてつもなく明るい。車は全部電気で動くようになる。2025年には、新車の半分は電気自動車になると言われています。そしてロボット、2050年には、世界の人口は100億人と予想されています。その時には、500億台のロボットが働いていると言われています。2050年になったら工場は全部無人です。1台のロボットには約600個の最小モーターが必要です。荷物運びのトラックもタクシーも全部自動運転、配達もドローンで「今、荷物が届きました」とスマートフォンに連絡が来るわけです。もうそういう時代が間近に来ています。これから全部がモーターの時代なのです。

「京都先端科学大学は関関同立が目標ですか。って言う人がいる。いや、僕は京大を抜くと言っている。偏差値で抜くのは100年かかる。だけど、世界には大学ランキングというのがある。これで100位以内に入っているのは、日本では東大と京大だけ。101位から200位の間には存在しない。だから、まずは199位までに入ろうと。それで日本3位になる。」一流大学を出たら、社会で即戦力になれるのか。それは違う。関西では京大を学歴ピラミッドの頂点に、私立は関関同立、産近甲龍（京都産業大学、近畿大学、甲南大学、龍谷大学）と続く。日本電産では、毎年500人の大卒者をこれまで国内だけで約7800人以上（海外も含むと何万人）を採用してきた。その個々の能力を分析してみると、出身大学の偏差値やブランドなど、仕事をやる上で何の関係もないことが分かった。今の大学教育は間違っている。もっと社会に出たときに役立つことを教えるべきで、そんな実践的な教育をする大学を創ろうと決意し、この大学の経営に乗り出した、というわけである。

当社で「ここ最近で一番早く課長、部長に出世したのは、龍谷大学の出身者。大学のランクなんて、全然関係ない。使ってみたら極めていい人材がいるんですよ。僕は思うんです。玉露のかすよりも番茶の上等が欲しいと。」一流大学の真ん中以下の学生よりも、京都先端科学大学の1番、2番の方がはるかに逸材という考えだ。「玉露のかすなんて飲めませんよ。番茶の上等の方がずっと美味しい。玉露の上等は確かにすごい。今の一流大学、東大や京大のトップクラス、上の1/3は凄いなと思う。頭の構造が全然違う。天才です。でも、そんな人材は、ノーベル賞を取るとか、全然違う所に行く。だけど半分以下は私に言わせれば普通です。大学受験の結果なんて、ビジネスの世界では関係ないわけです。僕は、世の中に足りない人を育てる大学にしたい。今、どんな業種でも欲しいというのが、英語ができる学生だ。そう言い切るのは日本電産の社員を見てきたからだ。今どき、東大、京大を出ても、英語を喋れない。喋れると思ったら帰国子女。英語がなぜ大事か。日本電産は、ポーランドやハンガリーにも拠点があるが、意思疎通は英語だ。英語ができなければ、世界的な競争に勝てない。なじみの寿司屋もマッサージ店も英語を勉強し、両方とも外国人客でいっぱい、常連の私が座れないほど繁盛している。今や、こんな小さな店にも英語が必要な時代になっている。だから、京都先端科学大学では、使える英語を学んでもらっている。複数形がどうだの、といった文法中心ではなく、まず喋れることが大事。そうしたら英語を学ぶことも楽しくなり英語好きになる。それから専門の英語を勉強していく。だれでも言葉が喋れるようになってから読み書きを学ぶ。我が大学はTOEIC 650点以上の到達を絶対目標にする。その分、英語に相当お金も時間も割く。」うちに来てくれて真面目に頑張ったら、TOEICで650点取れるようにする。それにそれぞれの専門の知識があれば、就職はどこでも通る。就活しなくてもいいぐらいだ。卒業時に650点取れる実力があれば、会社に入ってもすぐ800点は取れる。そうなれば即戦力だ。

息子が2人いるが、「勉強しろ」などと言ったことがない。ただ、英語を喋れるようにしておけ、などポイントは押さえていた。何がしたいかが大事で、子どものしたいことをさせた。息子2人は柔道と剣道を卒業するまで続けた。その結果、息子は2人とも会社を経営している。欧米では一流大学を出た者は起業する。有名企業に行くのはむしろ成績の良くない人です。それが当たり前だ。日本は全く逆ですね。なぜ一流大学へ入りたがるのか？それは、卒業したら有名な一流企業に入りたからです。日本では、子どもが会社を経営しているという「危ないことをしてますね。」などと言われる。「何を言ってるんだ。そんなことだから世界から遅れるんだ。」と言いたい。現在、一流企業に入ったからといって安心ではない。むしろ大企業ほどリストラをやっている。それに日本を代表する松下電器産業やホンダの創業者はブランド大学など出ていない。京都の大手企業も所かりだ。偏差値主義やブランド信仰など30年前に崩れている。

ある学生が「私は日本電産に入社したいけど、日本電産なんて聞いたことがない。こっちの会社に行きなさいと母が反対する。」言うのです。その会社は、規模は当社の1/10よりもっと小さい会社ですが、テレビで宣伝はよくやっていて名前は売れている。それが今の現状なのです。学生に誰が就職する会社を決めるのかと聞くと母親だと言う。大企業にはブランドがあるから、お母さん方はその会社へ行けと言うわけです。しかし、日本の大企業は、リストラや50歳以上とかでバンと首を切ってしまう。大赤字で人の首を切っているわけです。そんな会社に就職したら、次いつか首を切られるに決まっています。お母さんがその会社へ行けと言うのは、会社の名前を知っているからというだけです。当社は学生の人気企業ランキングではあまり上位にはいませんが、社会人がもう一度働きたい会社ではいつも上位で、社長が選んだランキングでは1番です。ずっと会社が成長しているのですから。偏差値ランキングには興味はないが、我が大学を10年経てば世界ランキングで東大、京大に次ぐ位置にし、2030年には京大を抜いてみせる。そのためには英語が大事だ。

とにかく偏差値やブランド志向の社会全体にそれが間違っていることを分からせるために風穴を開けてみせる。そのためには私自身が先頭に立って、この大学の改革を成功させないといけないと思っています。目標は、「とんがった人材」を育てること。「どんな人間かって、僕みたいな人間ですよ。」

自分の人生を120年(120歳まで生きる)と捉え、74歳の今でも大きな目標・野心をもって、突き進んでいく姿勢に感銘を受けました。自社の社員の経歴データから、大学の偏差値やブランドは、会社に入ったら関係ない。人生100年といわれる時代、理想を高くもって生きること、高い目標を立て実現することが大切であると、自身の成育歴や会社設立からの経験をもとに、親の子どもへの対応も含め熱く語られていました。

【週行事予定】

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
7	3	土	進研記述(3年) 進研模試(1,2年)			7:25 登校
	4	日				
	5	月	三者面談・家庭訪問期間-7/16	○	○	7:25 登校
	6	火		○	○	7:25 登校
	7	水	㊦100周年生徒活動時間Ⅱ 寺子屋にちなんⅡ 16:00-	○	○	7:25 登校
	8	木	奉仕活動(21HR)	○	○	7:25 登校
	9	金		○	○	7:25 登校
	10	土	土曜講座(分野別教養講座(1,2年)・校内進路相談会(3年))			8:20 着席
	11	日				
	12	月	㊦各種委員会Ⅲ 成績確認票配布	○	○	7:25 登校
	13	火		○	○	7:25 登校
	14	水	100周年実行委員会	×	○	7:25 登校
	15	木	㊦EX 祭体育の部結団式	○	○	7:25 登校